MATERIAL
FOR
THE
FUTURE

第９５期
中間事業報告書

平成１７年４月１日～平成１７年９月３０日

次世代マテリアルのパイオニア。
未来への跳躍。

日本タングステン株式会社

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社第９５期中間期（平成17年4月1日から平成17年9月30日まで）の営業の概況等につきまして、ご報告申し上げます。

（１）営業の経過および成果

当中間期におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加、さらに個人消費に回復の動きが見られるなど、景気は緩やかに回復しておりますが、一方で原油や原材料価格高騰の長期化など先行き不透明感の漂う状況の中で推移いたしました。

当社グループにおきましては、原材料価格の急騰によるマイナス要因もありましたが、景気の回復傾向が見られる中、堅調な需要に支えられて推移いたしました。

このような経済環境のなか、当社グループはカスタマーフレンドリー企業、企業価値の向上、収益力基盤の強化を経営課題とし、全社一体となって業績の向上に取り組みました結果、当中間連結会計年度の売上高は、６１億６千８百万円（前年同期比１８．７％増）となりました。

損益面につきましては、材料費の増加要因もありましたが、売上増による操業利益に加え生産の効率化等、低コスト対策に取り組んだことにより、経常利益は４億８千４百万円（前年同期比１０６．２％増）、中間純利益は２億８千３百万円（前年同期比０．９％増）となりました。

なお、セグメント別の状況につきましては後掲の「セグメント別の状況」に記載しております。

（２）対処すべき課題と今後の見通し

当社は、本年度からスタートした第３次中期経営計画の達成に向けて、「ファイン＆レアマテリアル商品をもって世界に貢献するカスタマーフレンドリー企業」をキーメッセージとして、効率的経営の推進、ガバナンスの向上、財務体質の強化に努めてまいる所存であります。目標とする経営指標として、ＲＯＥの改善、経常利益率の向上に取り組んでまいります。

株主のみなさまへ

海外事業につきましては、成長著しい中国市場での事業拡大を図り、収益基盤の強化に取り組んでまいります。この方針のもと、中国での生産拠点の拡充および顧客サービスの充実を図るため、本年７月に上海市において上海電科電工材料有限会社を設立し、また同じく上海地区において上海三義精密模具有限会社に出資することといたしました。

また、内部統制につきましては、コンプライアンス（順法）経営を優先課題のひとつと位置づけ、各種業務につきルールを定めた社内規程を整備し、徹底することで内部牽制を図っております。加えて内部監査体制を充実させ、潜在リスクの軽減と経営の透明性の確保により、企業価値の向上に努めてまいります。

通期の見通しにつきましては、景気は全体としては底堅く回復基調の中で推移していくものと思われますが、米国や中国の景気減速の懸念、原油価格の高騰、デジタル家電の在庫水準の高まりなど一部不透明な要素があり、景気の減速感が出てくることも予想されます。

このような状況の下、依然としてタングステン価格等の原材料価格高騰の影響が続くものと思われますが、当社グループは生産、販売、開発体制の連携を強化し、営業力を強化するとともに収益改善に取り組み、経営基盤の強化をはかってまいります。

なお、中間配当金につきましては、１株につき３円の配当とすることといたしましたので、なにとぞご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成１７年１２月

取締役社長　吉田省三

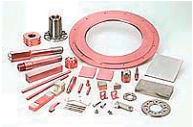
セグメント別の状況

粉末冶金事業

重電向け電極、ブレーカー用接点は堅調な需要に支えられ好調に推移したほか、液晶関連部材用タングステン・モリブデン棒製品は液晶関連市場の活況を受け増加いたしました。

デジタルカメラ用の超精密加工品、ＨＤＤ用磁気ヘッド基板は引き続き好調に推移し、衛生用品製造用のＮＴダイカッターは設備投資による生産能力アップや営業面・技術面の顧客サービスにより海外向け、国内向けともに増加いたしました。

これにより売上高は５８億２千万円（前年同期比１９．１％増）、営業利益は５億１千７百万円（同２１９．７％増）となりました。



産業用機器事業

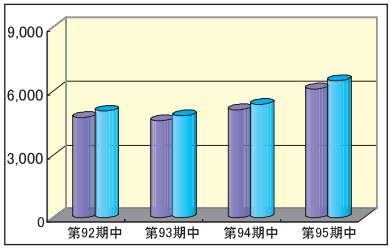
好調な半導体関連を中心に部品、冶工具の需要が堅調で売上高は２億７千４百万円（前年同期比１７．５％増）となり、営業利益は１千９百万円（同３１．５％増）となりました。

その他事業

一部新規開発品の売上が増加しましたが、賃貸ビルの共益費収入等の減少により売上高は７千３百万円（前年同期比２．１％減）となりました。この結果、営業利益は３百万円の営業損失（前年同期１千８百万円の利益）となりました。

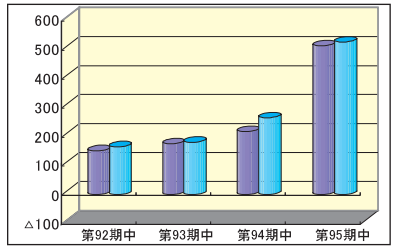
財務ハイライト

売上高（百万円）



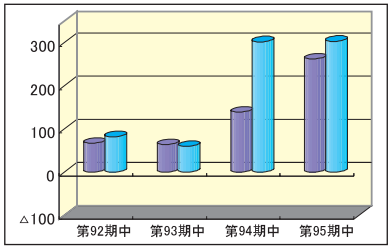
	第92期中	第93期中	第94期中	第95期中
単独	4, 643	4, 535	5, 021	5, 917
連結	4, 844	4, 692	5, 195	6, 168

経常利益（百万円）



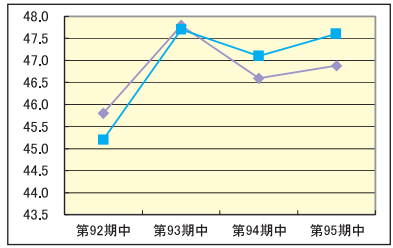
	第92期中	第93期中	第94期中	第95期中
単独	107	135	191	470
連結	128	138	235	484

中間純利益（百万円）



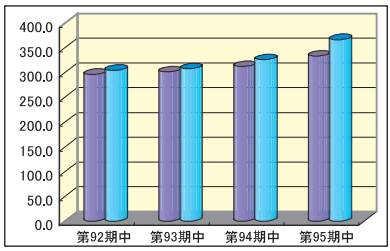
	第92期中	第93期中	第94期中	第95期中
単独	67	64	123	243
連結	82	60	280	283

自己資本比率（%）



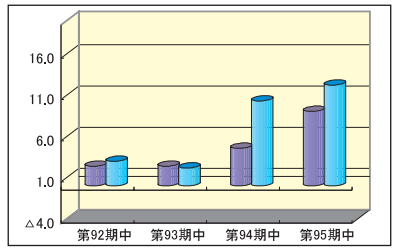
	第92期中	第93期中	第94期中	第95期中
単独	45. 8	47. 8	46. 6	46. 9
連結	45. 2	47. 7	47. 1	47. 6

１株当たり純資産額（円）



	第92期中	第93期中	第94期中	第95期中
単独	296. 6	301. 3	312. 5	334. 1
連結	304. 8	308. 1	326. 2	352. 8

１株当たり中間純利益（円）



	第92期中	第93期中	第94期中	第95期中
単独	2. 4	2. 4	4. 6	9. 6
連結	3. 0	2. 2	10. 4	11. 2

連　結　決　算

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表（要約）

（単位百万円）

科　目	当中間期	前中間期	科　目	当中間期	前中間期
流動資産	**8,619**	**7,488**	**流動負債**	**5,481**	**5,224**
現金及び預金	1,624	1,708	支払手形及び買掛金	1,493	1,212
受取手形及び売掛金	4,438	3,543	短期借入金	2,890	3,152
たな卸資産	2,144	1,786	その他	1,096	858
その他	418	464	**固定負債**	**4,312**	**4,028**
貸倒引当金	△5	△13	長期借入金	1,431	1,041
固定資産	**10,075**	**10,002**	退職給付引当金	1,457	1,715
有形固定資産	**7,559**	**8,076**	その他	1,423	1,271
建物及び構築物	5,490	5,814	**負債合計**	**9,793**	**9,252**
機械装置及び運搬具	1,569	1,722	**少数株主持分**	－	－
その他	499	540	**資本金**	**2,509**	**2,509**
無形固定資産	**39**	**35**	**資本剰余金**	**2,229**	**2,229**
投資その他の資産	**2,476**	**1,890**	**利益剰余金**	**4,102**	**3,766**
投資有価証券	2,189	1,616	**その他有価証券評価差額金**	**853**	**521**
その他	356	292	**為替換算調整勘定**	**△182**	**△185**
貸倒引当金	△68	△18	**自己株式**	**△610**	**△603**
			資本合計	**8,901**	**8,238**
資産合計	**18,695**	**17,490**	**負債・少数株主持分及び資本合計**	**18,695**	**17,490**

（注）有形固定資産の減価償却累計額　13,662百万円

連結損益計算書（要約）

（単位百万円）

科　目	当中間期	前中間期
売上高	**6,168**	**5,195**
売上原価	4,650	4,110
売上総利益	**1,518**	**1,085**
販売費及び一般管理費	987	893
営業利益	**530**	**191**
営業外収益	136	148
営業外費用	182	105
経常利益	**484**	**235**
特別利益	－	154
特別損失	－	－
税金等調整前中間純利益	**484**	**389**
法人税、住民税及び事業税	9	14
法人税等調整額	191	94
中間純利益	**283**	**280**

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位百万円）

科　目	当中間期	前中間期
Ⅰ営業活動によるキャッシュ・フロー	606	516
Ⅱ投資活動によるキャッシュ・フロー	△338	△74
Ⅲ財務活動によるキャッシュ・フロー	△192	△601
Ⅳ現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	0
Ⅴ現金及び現金同等物の増加額	73	△158
Ⅵ現金及び現金同等物の期首残高	1,550	1,867
Ⅶ現金及び現金同等物の中間期末残高	1,624	1,708

単　独　決　算

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表（要約）

（単位百万円）

科　目	当中間期	前中間期	科　目	当中間期	前中間期
流動資産	**8,337**	**7,203**	**流動負債**	**5,357**	**5,182**
現金及び預金	1,457	1,541	支払手形及び買掛金	1,438	1,164
受取手形及び売掛金	4,339	3,478	短期借入金	2,890	3,152
たな卸資産	2,010	1,669	その他	1,028	864
その他	535	526	**固定負債**	**4,202**	**3,865**
貸倒引当金	△4	△13	長期借入金	1,431	1,041
固定資産	**9,653**	**9,735**	退職給付引当金	1,353	1,594
有形固定資産	**7,393**	**7,941**	その他	1,417	1,228
建物	5,205	5,511	**負債合計**	**9,560**	**9,047**
機械装置及び運搬具	1,446	1,621	**資本金**	**2,509**	**2,509**
その他	741	808	**資本剰余金**	**2,229**	**2,229**
無形固定資産	**39**	**34**	**利益剰余金**	**3,452**	**3,236**
投資その他の資産	**2,220**	**1,759**	**その他有価証券評価差額金**	**849**	**519**
投資有価証券	1,903	1,375	**自己株式**	**△610**	**△ 603**
その他	386	402			
貸倒引当金	△68	△18	**資本合計**	**8,429**	**7,891**
資産合計	**17,990**	**16,938**	**負債・資本合計**	**17,990**	**16,938**

（注）有形固定資産の減価償却累計額　13,230百万円

損益計算書（要約）

（単位百万円）

科　目	当中間期	前中間期
売上高	**5,917**	**5,021**
売上原価	4,483	4,023
売上総利益	**1,433**	**998**
販売費及び一般管理費	933	847
営業利益	**500**	**151**
営業外収益	164	156
営業外費用	193	116
経常利益	**470**	**191**
特別利益	－	153
特別損失	38	123
税引前中間純利益	**431**	**221**
法人税、住民税及び事業税	9	9
法人税等調整額	178	88
中間純利益	**243**	**123**
前期繰越利益	992	840
中間未処分利益	**1,235**	**964**

関係会社出資金の評価損を特別損失に計上しております。

■中国企業（日系）に出資いたしました。

当社は、衛生用品製造用の超硬合金製ダイカッターを製造し国内外に広く販売しておりますが、輸出品については、現地でのカッターの再研磨が顧客サービスの観点から必要不可欠となっております。

近年の衛生用品メーカーの積極的な中国進出に伴い、現地での再研磨のニーズが高まっており、これに対応するため、加工技術、設備能力を持った現地企業に出資し、顧客とより密着したサービスが提供できる体制を整備することといたしました。

投資先とは再研磨技術供与を行い、現在当社の現地ユーザー向けの再研磨を実施しており、今回の出資により、再研磨品の性能向上、新規品の拡販等、中国でのダイカッター事業全般の拡大を図ってまいりたいと考えております。

出資会社の内容

（１）会社名　：上海三義精密模具有限公司
（２）所在地　：中国上海市漕河涇開発区桂菁路
（３）代表者　：一瀬　慎一
（４）資本金　：１０５万米ドル（約１１９百万円）
（５）設立年月日：１９９５年１０月２６日
（６）従業員数：７０名
（７）事業内容：精密金型、プレス部品、射出成型品、半導体製造設備および自動化設備製造販売

出資の内容

（１）出資額　：３０万米ドル（約３４百万円）
増資総額５０万米ドルのうち、３０万米ドルを出資。
（２）増資後資本金：１５５万米ドル（約１７６百万円）
（３）出資比率：１９．３５％
（４）出資期日：２００５年１２月初旬
（５）董事　　：１名選任（非常勤）

企業結合の状況　重要な子会社等の状況

■ **連結対象子会社**

株式会社　福岡機器製作所	福岡市博多区	産業用機器の設計製作
株式会社　昭和電気接点工業所	福岡県飯塚市	電気接点等の製造販売
株式会社　エヌ・ティーサービス	福岡市博多区	ビル管理、保険代理、商品販売

■ **持分法適用関連会社**

ＳＶニッタン株式会社	タイ王国バンコク市	超硬工具及び超硬精密製品の製造販売
四平日本タングステン有限会社	中国吉林省四平市	ﾀﾝｸﾞｽﾃﾝ･ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ製品の製造販売
九江日本タングステン有限会社	中国江西省九江市	ﾀﾝｸﾞｽﾃﾝ･ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ製品の製造販売
上海電科電工材料有限会社	中国上海市	電気接点製品の製造販売

(注)1. サハビリヤニッタン株式会社とＳＶニッタンプレシジョン株式会社は１２月に合併しＳＶニッタン株式会社となりました。
2. 上海電科電工材料有限会社は新たに関連会社となりました。

会社の概要（平成17年9月30日現在）

■ **設立**　1931年(昭和６年)４月１日

■ **資本金**　25億950万円

■ **従業員数**　544名(連結489名)

■ **本社**　福岡市博多区美野島一丁目２番８号

■ **事業所**　東京支店、名古屋支店、大阪支店、福岡支店、香港ブランチ
基山工場、飯塚工場、宇美工場

■ **役員**

取締役社長	吉田　省三	(代表取締役)
専務取締役	小倉　伸一	
常務取締役	石橋　修	
常務取締役	怡土　宣彦	
取締役	高尾　幸生	
取締役	柘植　成彬	
取締役	鎌田　迪貞	九州電力株式会社 代表取締役会長
常任監査役	弥吉　元戎	(常勤)
監査役	原　芳道	(常勤)
監査役	今村　毅	九州電力株式会社 代表取締役副社長
監査役	末松　修	株式会社 福岡銀行専務取締役

株式の状況（平成17年9月30日現在）

■ 会社が発行する株式総数　１００，０００，０００株

■ 発行済株式の総数　２７，７７７，６００株

■ 株主数　３，８３６名

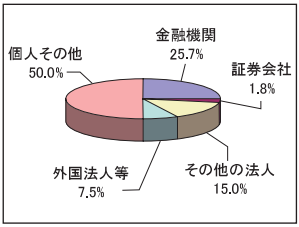
■ 大株主　（千株、%）

株主名	持株数	持株比率
九州電力株式会社	１，６６６	６．００
株式会社福岡銀行	１，２３６	４．４５
ｺﾞｰﾙﾄﾞﾏﾝ･ｻｯｸｽ･ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ	１，１７２	４．２２
共栄火災海上保険株式会社	１，１１７	４．０２
日本証券金融株式会社	７３４	２．６４
自社従業員持株会	６６２	２．３９
みずほ信託銀行株式会社	６４３	２．３１
株式会社日立製作所	６１９	２．２３
明治安田生命保険相互会社	６０１	２．１７
株式会社新生銀行	５６８	２．０４
ﾊﾞﾝｸｵﾌﾞﾆｭｰﾖｰｸｼﾞｰｼｰｴﾑｸﾗｲｱﾝﾄｱｶｳﾝﾂｲｰｱｲｴｽｼﾞｰ	５２８	１．９０

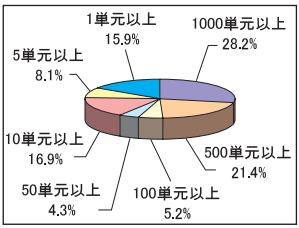
上記のほか、自己株式を２，５５２千株保有しております。

■ 株式の分布状況

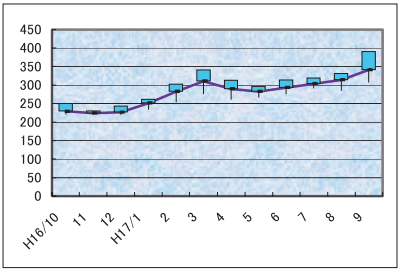
● 所有者別分布



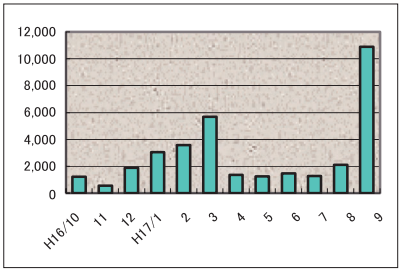
● 所有数別分布



■ 株価の推移（円）



■ 出来高（千株）



（備考）　株価および出来高は東京証券取引所での取引実績に基づいて記載しております。

■株主メモ

・決算期	3月31日
・基準日	定時株主総会、利益配当金　3月31日 中間配当金　9月30日 そのほか必要あるときはあらかじめ公告して定めます。
・定時株主総会	6月
・１単元の株式の数	1,000株
・上場証券取引所	東京（２部）、福岡
・証券コード	６９９８
・名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目２番１号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
・同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本支店
・お問い合わせ先	〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部 電話0120-288-324（フリーダイヤル）
・決算公告	当社ホームページhttp://www.nittan.co.jp/に掲載しております。

（ご案内）

株式の名義書換、単元未満株式の買取請求、配当金振込銀行の変更などの諸手続きに必要な書類や手続き方法は、下記みずほ信託銀行株式会社のホームページでご覧いただけます。

http://www.mizuho-tb.co.jp/cindex.html

日本タングステン株式会社

本 社　〒812-8538 福岡市博多区美野島一丁目２番８号
TEL(092)415-5500(代表)　FAX (092)415-5511
ホームページアドレス　http://www.nittan.co.jp/

R100 古紙配合率100%
再生紙を使用しています

PRINTED WITH SOY INK
Trademark of American Soybean Association

この報告書は,環境にやさしい大豆インクと
再生紙を使用しています。